



2011～2012年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2011～2012年度
国際ロータリー・テーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー

国際ロータリー2720地区 **中津平成ロータリークラブ**

会長 二反田新一 幹事 若松 定生 会報担当 岩 淵 正 芳 クラブ広報委員長 川 崎 潤

例会日/毎週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

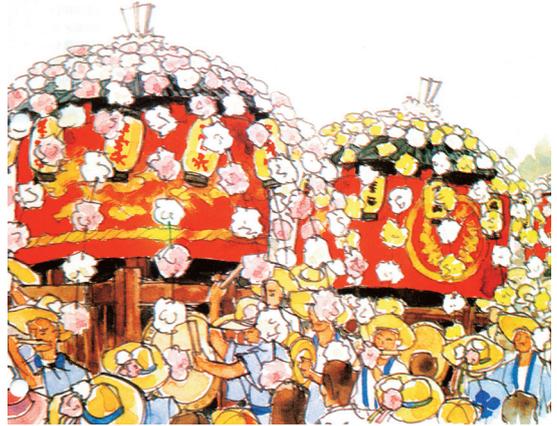
e-mail office@n-heisei.org

<http://www.n-heisei.org/>

第1053回例会 平成23年12月20日 (火)

●本日の例会プログラム 12月20日 (火) 18時30分～
(於) グランプラザ中津ホテル 3クラブ合同忘年例会

◎次回例会プログラム 新年例会 18時30分～
(於) エトウワール ダルジャン



前回(1052回例会)の記録

平成23年12月15日(木)

■ゲスト

なし

■ビジター

中津RC 佐藤正直君

■出席報告

会 員 数 24名
免 除 者 数 1名
対 象 者 数 23名
本日出席者 20名
欠 席 者 数 3名
出 席 率 86.96%

■前々回出席報告の修正

前々回欠席者 5名
メイクアップ 2名
欠 席 者 3名
修正出席率 78.26% → **86.96%**

●メイクアップ

永松(達)(中津中央)、熊谷(大分1985)

●欠席者

松本、矢頭、土居

◎ロータリーソング それでこそロータリー

◎会長の時間 会長 二反田新一

毎年恒例になってます、流行語大賞と今年の漢字が発表されました。流行語大賞は正式には『ユークキャン新語・流行語大賞』といい現代用語の基礎知識が選んでます。今年は「なでしこジャパン」が選ばれました。「なでしこジャパン」は、女子サッカーW杯での快進撃と優勝という歴史的な快挙を成し遂げたことで「女子サッカーが、日本女性の優雅な“美しさ”をたたえる意味として用いられている愛称まで国民的に共感されて“なでしこ”の呼び名が大合唱を巻き起こすことになった」ことが選出の理由とのこと。その他トップテンに選ばれたのは以下の通りで、「帰宅難民」「絆」「こだまでしょうか」「3・11」「スマホ」「どじょう内閣」「どや顔」「風評被害」「ラブ注入」となっており、やはり震災関連の



ものが多いようです。

一方、「今年の漢字」は財団法人漢字能力検定協会が、一般公募を行い、毎年12月12日の漢字の日に京都清水寺で発表されます。今年は「絆」が選ばれました。今年日本国内では、東日本大震災や台風による大雨被害、海外では、ニュージーランド地震、タイ洪水などが発生し、大規模な災害の経験から家族や仲間など身近でかけがえのない人との「絆」をあらためて感じたことによるものだと思いますが、また、SNSといわれるTwitterやFacebookを通じて新たな絆や、昔の知り合いの絆がより深まったことにもよると考えられます。なでしこジャパンも監督と選手、チームワークの絆に日本中が感動しました。

その他「今年の漢字」のトップテンは、災、震、波、助、復、協、支、命、力です。やはり震災関連のものが多いのですが、選ばれた漢字はどれもそれを乗り越えようとする前向きなものばかりです。



2011～2012年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei

2011～2012年度
国際ロータリー・テーマ
「こころの中を見つめよう
博愛を広げるために」

災害、超円高による景気低迷と、日本にとって今年は大変な年でありました。そんな中で、流行語大賞も今年の漢字も、皆で支えあって苦難を克服しようとする日本人の姿が映し出されていると思います。

来年はどのような言葉が選ばれるのでしょうか？何があっても、今年と同じように優しさと力強さを感じられる「言葉」や「漢字」が選ばれてほしいと思います。

◎幹事報告 幹事 若松定生

●例会変更 中津中央RC→1/3 (火) 休会、
1/10 (火) 新年例会18:30～グランプラザ
中津ホテル、中津RC→1/4 (水) 休会、
1/11 (水) 新年例会18:30～グランプラザ中津ホテル、大分RC、大分東RC、大分臨海RC、大分南RC、大分中央RC、大分1985RC、大分城西RC、湯布院RC、別府RC、別府北RC、別府東RC、別府中央RC、宇佐RC、日出RC、豊前RC

●週報受理 杵築RC、八代RC

●幹事報告

- ・ガバナー月信12月号届く
- ・ガバナー事務所より国際囲碁大会のご案内
- ・国際基督教大学東ヶ崎潔記念ダイアログハウス御献金のお願い

●理事会報告

- ・仮出欠
- ・臨時理事会

◎委員会報告

・クラブ管理運営委員会 若松定生委員長

1月例会プログラムで1月12日(木)の時間が間違っていました。正しくは、12:30～→18:30～です。

・奉仕プロジェクト委員会

社会奉仕担当 青木秀暢会員
中津市教育委員会に仙台市立八軒中学校の吹奏楽のCDを寄付しました。



◎ニコニコボックス 担当:奉仕プロジェクト(職業奉仕担当)委員会

[二反田新一会長]中津市教育委員会へのCD寄付が本日、大分合同新聞に載ってます。向笠公園説明板の清掃を中津中央RCの幹事さんが奉仕しています。

[岡野重信会員]本日卓話をします。例会場所の変更については、慎重に行ってください。

[出納皓雄会員]虐待防止の対策を中津市が行っています。

[小路 東会員]私の孫が此の度、久留米大学医学部へ推薦入学することになりました。

[岩淵正芳会員] 今月週報担当ですが、作成雛形のおかげで、簡単に作成できます。

◎会員卓話

「米山奨学会について」

岡野重信会員



1. 事業主体 財団法人ロータリー米山記念奨学会
2. 事業の沿革

1952年(昭和27年)、東京RCが初代会長米山梅吉氏の業績を記念するため、育英事業として「米山基金」を創設。特にアジア諸国からの留学生の招致を目指す。

1957年、日本の全RCを組織化すべく「ロータリー米山記念奨学委員会」を結成。

財団法人の設立を企画。1960年、「ロータリー米山記念奨学会」と改称。1967年、「財団法人ロータリー米山記念奨学会」設立。

3. 米山梅吉氏(1868年(慶応4年)-1946年(昭和21年))

旧制沼津中学中退、東京英知学校(青山学院の前身)入学。その後渡米して、8年間苦学し、大学で法学を研究。最終学歴はオハイオ州ウエスレアン大学マスターオブアーツ。帰国後、1897年、三井銀行入社。1909年、常務取締役。1920年(大正9年)、東京RC設立、初代会長。1924年、三井信託株式会社設立、取締役社長。晩年三井信託銀行代表取締役、旧貴族院議員。

4. 米山奨学会の特徴(財団の高度の公益性)

対象 主としてアジア地域からの留学生。

現在国籍別では中国、韓国、台湾で約70%以上を占める。

内容 2年間を超えない限度で、返済義務がない奨学金の支給。

金額の例一現在、学部月額10万円。大学院月額14万円。

規模 2010年の場合

事業予算14億2,600万円(内奨学金支出12億2,900万円)。奨学生数800人。

選考 主として地区の指定校からの推薦。

5. 原資 寄付金

普通寄付金と特別寄付金

6. 理念 平和と国際理解の推進